

フィルターを長持ちさせるお手入れ方法

※ご注意： 1、2の作業は危険ですので同時に行わないでください。

※ご注意： フィルターには抗菌性の防腐剤が施してありますので、フィルターを扱った後はよく手を洗ってください。

1. フィルターを柔らかく保つ

フィルターは水道水の不純物や空気中のチリ・ホコリを取り除くため、汚れて変色し、固くなり水を吸収しなくなります。その際は、次の方法でお手入れしてください。

フィルターが入る大きさの容器に水を注ぎ、その中にフィルターを入れます。小さじ2杯のお酢あるいはクエン酸を加え20分たったらフィルターを取り出して、すすぎます。押し洗い、こすり洗いはしないでください。余分な水を振って落とし（絞らないこと）、濡れたままの状態加湿器にセットします。最初はお酢の臭いが残ることもありますが、使用している間に臭いは消えます。

2. フィルターを消毒する

月に一度程度フィルターを下記の要領で消毒をすると、カビの発生を予防できます。頻繁に消毒をしたり、消毒液を下記の濃度よりも濃くすると、フィルターを劣化させる原因になりますのでご注意ください。

約4Lの水に小さじ1杯の塩素系漂白剤を混ぜた液体にフィルターを浸けます。20分程度浸け置きした後、水でよくすすぎ余分な水分を振り落とします。軽く乾かしてから水受け皿に再度セットします。フィルターが劣化するので絞らないでください。

加湿器を水が入ったままの状態12時間以上運転せずに放置すると、フィルターにカビが生えることがあります。長時間使用しない場合は、フィルターを抜いて乾かしてください。